



現在位置: [トップページ](#) [安心・安全情報](#) [Web「京都消防」](#) [Web京都消防平成27年12月号](#)
平成27年12月号 消防音楽隊♪(ドレミファイヤー)の練習室探訪

平成27年12月号 消防音楽隊♪(ドレミファイヤー)の練習室探訪

ページ番号 191174

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます [Twitter](#) [シェア](#) 2015年12月1日



「Web京都消防」の読者の皆さん、こんにちは！音楽隊の活動や吹奏楽など、音楽の話題を提供していきます新人音楽隊員の♪(ドレミファイヤー)です。

12月1日から「消防音楽隊発足60周年記念演奏会」の来場者の募集を行っています。詳しくは、消防局ホームページ(<http://www.city.kyoto.lg.jp/shobo/page/0000188076.html>)又は市内各所に掲示のポスターを御覧ください。

「Web京都消防」の読者の皆さんの御来場をお待ちしております！

京都市消防音楽隊
発足60周年記念演奏会
～ 伝えよう! 歴史をつなぐ防火の心 音にのせて～

京都市消防音楽隊
平成28年2月28日(日)
ロームシアター京都
事前申込制・入場無料

午後1時00分
午後3時30分

※申込み多数の場合は抽選となります。

出演 京都市消防音楽隊・京都市消防カラーガード隊・神戸市消防音楽隊
京都市内各消防団・京都市内中学校吹奏楽部員・京都学生消防サポート

【応募方法】
●来場者を希望の方は、往復はがき又は京都市消防局ホームページの応募フォームから申し込んでください。
●申込みは、往復はがき又は応募フォームで、1名につき1回限りとなります。
●1件につき2名まで申し込むことができます。

【往復はがきの記入要領】
【往復の宛先】
〒601-8106 京都市南区上鳥羽7-1-13 京都市消防音楽隊 受付係

【募集期間】 平成27年12月1日(日)～平成28年1月15日(日)
郵送の場合、当日消印有効。申込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。
結果につきましては、1月下旬にお知らせします。

【申込み/お問合せ先】 075-682-0119
【お問合せは、月曜日から金曜日(祝日及び年末年始を除く)の午前9時～午後5時まで。】
〒601-8106 京都市南区上鳥羽7-1-13 京都市消防学校教務課 京都市消防音楽隊

この印刷物は、不変になりししたら随時見直ししてリサイクルです。
ユニバーサルデザイン印刷に配慮しています。

平成27年
12月号目次

このページに対してご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

役に立った どちらともいえない 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

見つけやすかった どちらともいえない 見つけにくかった

お寄せいただいたご意見は、今後のホームページ運営の参考とします。

確認する

お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#)

[上京区](#)

[左京区](#)

[中京区](#)

[東山区](#)

[山科区](#)

[下京区](#)

[南区](#)

[右京区](#)

[西京区](#)

[伏見区](#)

(c) 2015 City of Kyoto. All rights reserved.

閉じる

平成27年12月号 情報通信課通信

ページ番号190704

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

[ツイート](#) [シェア](#)

2015年12月1日



新消防指令システム

平成27年6月2日に運用を開始した新消防指令システムでは、「指揮本部支援端末」、「救急活動用端末」、「情報共有・作戦支援端末」、「映像伝送装置」などを新規導入するとともに、「災害情報処理機能」、「大規模災害機能」などの機能を拡張し、それぞれのシステムの連携を強化することで、日々の火災、救急活動はもちろんのこと、震災や水災などの大規模災害を含めたあらゆる災害に、より一層迅速かつ的確に対応できるようになりました。

システムの主な特徴

これまでは、消防指令センターと現場指揮本部の間では、主に無線により現場状況の情報共有を図っていましたが、現場指揮本部にノートパソコンを、指揮者にタブレットを導入し、映像による情報共有が可能となるなど、現場指揮機能を強化しました。



消防指令センターの機能強化

従前は、災害多発時や大規模災害時に職員を非常召集した場合に消防指令センター内の活動スペースが少なく、処理能力に限界がありました。増加する救急需要をはじめ、地震や風水害など大規模災害に的確に対応していくため、消防指令センターを一新して情報収集機能及び処理能力を強化しました。

1. 指令台(119番通報を受信する台)を7台から9台に増設

指令台を増設したことにより、より多くの災害受信、出動指令の発令等が可能になりました。

2. 1台の指令台のモニター数を2画面から4画面に拡充

指令台のモニターへの情報の表示量を増やし、災害地点の迅速な特定など、より適切な災害対応が可能になりました。

3. 大規模災害時等において、1台の指令台を2分割して2人で運用することができる「大規模災害モード」を搭載(最大18台として対応可能)

大規模災害時等に指令台を倍増させ、処理能力が大幅にアップしました。



4. 床面積を増やし、あらゆる災害に的確に対応

大規模災害時には、見学スペースとして使用しているエリアを情報集約や作戦を樹立する「指令作戦室」として消防指令センターと一体的に運用できるスペースとしました。



(大規模災害時)
可動式間仕切り
パネルを開放



5. 大型マルチスクリーンの設置

消防指令センターの前面に110インチスクリーンを5面配置し、消防車や救急車等の車両運用状況、高所カメラやヘリテレビの映像、気象情報等を任意の位置に表示できるようにし、情報収集機能を強化しました。

新消防指令センター

- 指令台モニターの増設
現行システム 2面 → 新システム 4面
- 指令台の増設
7台 → 9台
- 大型マルチスクリーンの新設
(旧)80インチ 3セット → (新)110インチ 5セット
- 指令作戦室の新設
【通常時】
模擬指令台を新設。見学者が指令センター員を体験できる。
【大規模災害発生時】
着警防本部と連携を図る
- (大規模災害発生時)
1台4面 → 1台2面に分割運用可能
(最大18人が対応可能)

迅速な病院選定による救急活動の効率化

これまででは、救急隊が現場で受入可能な救急病院を確認するには、救急車に積載しているナビゲーションモニターで確認するか、消防指令センターに無線等で問い合わせる必要がありましたが、救急隊にタブレットを導入したことにより、救急隊が救急車から離れていても、病院選定等に必要となる医療情報(救急病院の収容可能状況等)を確認することができ、より迅速に受入病院の選択が可能となりました。



～これまでの消防指令システム～

昭和26年(1951)1月1日	一斉指令装置運用開始
昭和36年(1961)6月1日	一斉指令装置更新運用開始
昭和45年(1970)4月1日	消防指令センター救急指令装置運用開始
昭和62年(1987)2月2日	一斉指令装置更新運用開始
平成10年(1998)4月1日	新消防指令システム運用開始
平成27年(2015)6月2日	新消防指令システム更新運用開始

消防救急デジタル無線

京都市消防局では、平成24年から4箇年計画で整備してきた消防救急デジタル無線の本格運用を平成27年10月27日から開始しました。

この4年間は、基地局整備、移動局(携帯無線、車載無線等)整備、伝搬調査等のデジタル化へ向けての準備と、デジタル無線に切替後、スムーズに対応できるように、職員に対して消防救急デジタル無線の特性や取扱方法等の説明を実施してきました。

消防救急無線のデジタル化の経緯

近年、携帯電話や無線LAN等の爆発的普及に伴い、電波(周波数)が不足しており、電波の有効利用の観点から、電波行政を担う総務省がテレビ(地デジ)をはじめ、タクシー無線等の各種業務用無線及び防災行政無線についてのデジタル化を推進しています。

このようななか、これまで運用していた消防救急アナログ無線についても、電波法令の改正により、平成28年5月31日までにアナログ方式からデジタル方式に移行し、新たな周波数帯を使用することとされました。

これに伴い、全国750余りの全消防本部が消防救急無線のデジタル化に着手しており、すでに多くの消防本部がデジタル無線の運用を開始しています。

消防救急無線のデジタル化は消防通信の非常に大きな転機であり、技術面、運用面及び経費面に大きな影響を及ぼすことから、京都市消防局では、平成21年度に関係所属による検討会を設置し、検討を行ってきました。(庶務課、企画課、救急課、警防計画課、消防救助課、指令課及び情報通信課(事務局))

消防救急デジタル無線の特徴等

1. デジタル無線のメリット

◎ 秘匿性の向上(個人情報、機密情報等の保護)

デジタル無線は、一般には市販されない専用の無線機器でないため、傍受できないため、個人情報や機密情報等の保護が図れるようになりました。

◎ 無線チャンネルの増加(同時災害時の輻輳軽減)

デジタル無線にすることにより、電波の有効利用が図れるため、消防用、救急用共にチャンネルを増加することができ、同時災害時においても円滑に通信が行えるようになりました。

◎ 音声の明瞭化(現場通信の確実性の向上)

デジタル無線は、アナログ無線と比較して音声が格段に明瞭になり、より円滑かつ確実に通信が行えるようになりました。

◎ データ通信(消防・救急活動の円滑化)

携帯通信回線に障害が発生した際に、デジタル無線で消防車両の位置情報を送信することができるようになりました。

2. デジタル無線の特性

アナログ無線は、音声をそのまま電波に乗せていますので、電波干渉(混信)を受けた場合でも、程度の差はありますが、雑音等に混じりながら音声を聞き取ることができました。

一方、デジタル無線は、音声をデータ(1と0の信号)に変換して電波に乗せて送信し、受信した無線機では、データを音声に復元して再生しています。強い電波干渉を受けると、データが壊れる(1と0の並びが乱れるなど)ことがあり、この場合は受信側で復元できず音声は再生されません。

デジタル無線にはこのような特性があるため、複数の基地局から同じチャンネルの電波を出すと、ほとんどの地域で無線通信ができなくなってしまいます。そこで、各基地局には違うチャンネルを割り当て、それをグループ化することで、アナログ無線と同じように市内全域での無線通信を可能にしています。

3. 主な整備機器

ア 基地局無線装置

消防指令センターと消防隊や救急隊が通信を行うための基地局となる無線装置で、消防局本部と市内周辺5箇所の無線中継所に設置しています。

**イ 卓上型無線装置**

消防署及び消防出張所等に設置している無線装置です。

**ウ 車載型無線装置**

消防車、救助工作車及び救急車等に設置している無線装置です。

**エ 携帯型無線装置**

指揮隊、消防隊、救助隊及び救急隊の隊長等に配備している無線装置です。



平成27年
12月号目次

お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#)

[上京区](#)

[左京区](#)

[中京区](#)

[東山区](#)

[山科区](#)

[下京区](#)

[南区](#)

[右京区](#)

[西京区](#)

[伏見区](#)

(c) 2015 City of Kyoto. All rights reserved.

閉じる



現在位置: [トップページ](#) [安心・安全情報](#) [Web「京都消防」](#) [Web京都消防平成27年12月号](#) 平成27年12月号 教養課通信

平成27年12月号 教養課通信

ページ番号191307

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます [ツイート](#) [シェア](#) 2015年12月1日

教養課通信



専科教育・予防査察課程を実施

消防学校 教養課

10月19日~30日

京都市消防学校では、本年度から、従来の予防1課程と予防2課程を一体化した「予防査察課程」を実施し、京都市消防局9名及び京都府内消防本部17名の職員が受講しました。

本課程では、幅広い予防業務における査察、設備、建築、住宅防火、危険物、文化財、各々にスポットを当て、基本的な知識の習熟にとどまるだけでなく、設備の実物指導、査察実務、書類作成等の即実戦に対応するための教育、外部講師による専門的かつ応用的な教育など10日間にわたり予防業務に特化した教育を実施しました。

本課程の講義・実習は、当局の予防部員だけでなく、様々な分野の外部講師のご協力もあり、充実した研修となりました。



違反処理実習



違反処理実習(大型ディスプレイを活用した書類作成実務)



外部講師による研修

不動産登記制度の概要



違反是正推進に係る弁護士相談



接遇





モリタ宮田工業株式会社(倉住氏)



設備技術研修会 (京都税理士会館)

文化財対象物 (伏見稲荷大社) の査察実習



放水銃設備



自動火災報知設備(受信盤)



放水銃設備(地下伸縮式)



防災設備の設置状況



自動火災報知設備(空気管式の設置状況)

平成27年
12月号目次

このページに対してご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

役に立った どちらともいえない 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

見つけやすかった どちらともいえない 見つけにくかった

お寄せいただいたご意見は、今後のホームページ運営の参考とします。

確認する

お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)

閉じる

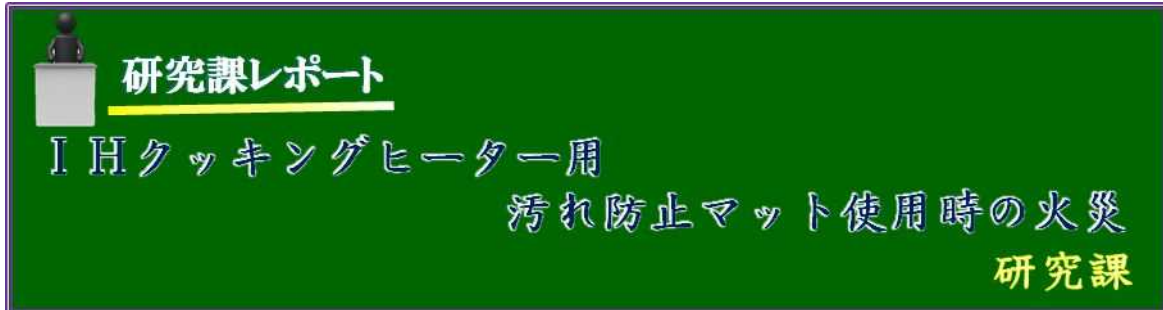
平成27年12月号 研究課レポート

ページ番号190711

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

 ツイート シェア

2015年12月1日



前回の天ぷら鍋の発火時間に関する実験に続き、今回は、IHクッキングヒーター（電磁調理器）を使用した場合の天ぷらなべ火災について実験を行いましたので、紹介します。

天ぷらなべ火災と言えばガスこんろの火災を思い浮かべますが、火を使わずに電気のかで加熱するIHクッキングヒーターでも、使い方によっては天ぷらなべ火災が発生します。今回は、市内で発生したIHクッキングヒーター使用時の天ぷらなべ火災の再現実験を行いました。

この火災では、IH対応鍋に約200mlのサラダ油を入れ、「加熱モード」で使用していたほか、トッププレート上に汚れ防止マット※1（以下「マット」という。）が敷かれていました。

※1 汚れ防止マットとは...IHクッキングヒーターのトッププレートを、吹きこぼれや油汚れ、焦げ付きによる汚れから守るために敷くマット。



新品マット



汚れ・油付着マット

実験目的

市販されているIHクッキングヒーター用の、マットの主な材質は、シリコン、ガラス繊維、マイカ（雲母）及び結晶化ガラスの4種類で、これらのマットを敷いた状態での天ぷら鍋の加熱実験が、独立行政法人 国民生活センターで行われています。その結果によると、材質がマイカのマットを敷き、加熱モードで加熱した際に発火していますが、その他の材質のマットについては発火に至っていません。（参考：独立行政法人 国民生活センターHP「IHクッキングヒーターに用いる汚れ防止マットの使用に注意」）

今回の火災で使用されていたマットは、厚さ2mmのガラス繊維製のものであり、このガラス繊維製のマットを使った独立行政法人 国民生活センターの実験のケースでは、発火に至っていません。そこで、「このガラス繊維製マットを使用したときには、異常温度上昇防止機能※2が作動し、発火に至ることはないのか？ マット自体が汚損している場合でも作動するのか？」について検証するため、天ぷら鍋の加熱実験を行いました。

※2 異常温度上昇防止機能（温度過昇防止）とは...空焚きなどで、鍋が異常に高温になったときに自動的に加熱を停止する機能で、鍋底の温度が一定温度を超えると、自動的に通電を制御するようにコントロールし、温度が下がると自動的に通電（加熱）し始める。

実験方法

最大出力1,400Wの卓上型IHクッキングヒーター（1口）を使用し、IH対応鍋に200mlのサラダ油を入れ、加熱モードに設定します。

次の3種類の設定で実験を行い、異常温度上昇防止機能の作動状況と、油の温度変化及び時間経過を測定しました。

設定1. マット(ガラス繊維製)を敷かずにそのまま加熱する。

設定2. 新品のマット(ガラス繊維製)を敷いて加熱する。

設定3. 汚れや油の付着したマット(ガラス繊維製)(以下「汚れたマット」という。)を敷いて加熱する。



実験結果

実験結果は、以下のとおりでした。

設定1. マットを敷かないとき		設定2. 新品マットを敷いたとき		設定3. 汚れたマットを敷いたとき	
時間(秒)	温度	時間(秒)	温度	時間(秒)	温度
0	30℃	0	33℃	0	33℃
30	40℃	30	38℃	30	34℃
60	65℃	60	58℃	60	56℃
90	105℃	90	85℃	90	89℃
120	145℃	120	118℃	120	121℃
150	174℃	150	144℃	150	150℃
180	200℃	180	167℃	180	173℃ 煙発生
210	225℃ 煙発生	210	188℃ 煙発生	210	196℃
240	250℃	240	213℃	240	216℃
270	265℃	270	226℃	270	233℃
300	280℃	300	241℃	300	249℃
330	295℃	330	255℃	330	263℃
360	305℃	360	268℃	360	275℃
390	319℃	390	278℃	390	286℃
420	329℃	420	294℃	420	296℃
450	338℃	450	298℃	450	304℃
468	348℃ 安全装置作動	480	307℃	480	313℃
		510	314℃	510	320℃
		540	321℃	540	328℃
		570	328℃	570	335℃
		600	335℃	600	343℃
		630	340℃	630	349℃
		640	343℃ 安全装置作動	660	356℃
				690	361℃
				720	366℃
				750	370℃ 発火

設定1のマットを敷かない場合は、異常温度上昇防止機能が作動し、天ぷら油が発火する前に通電が停止(自動OFF)されました。

設定2の新品のマットを敷いた場合は、マットを敷かない場合と比べ、油温の上昇が緩やかになりましたが、設定1と同様に天ぷら油が発火する前に通電が停止されました。

設定3の汚れたマットを敷いた場合は、設定1及び2で異常温度上昇防止機能が作動した温度になっても通電は停止され、天ぷら油は発火温度まで上昇し、発火に至りました。

まとめ

今回の実験から、汚れたマットを使用すると、IHクッキングヒーターに取り付けてある異常温度上昇防止機能が作動せず、発火に至ることが確認できました。

これは、マットの変形や付着した油などの汚れにより、IHクッキングヒーターのセンサーが、鍋底の温度を正しく検知できなかったことによるものと考えられ、他の材質のマットについても、同様のことが起こり得ると考えられます。

マットの取扱説明書には、「揚げ物調理の際には使用しないでください。」と記載されており、また、IHクッキングヒーターの取扱説明書には「鍋の下に汚れ防止シートや紙などを敷かないでください。」と注意喚起しているものもあります。

揚げ物を調理する際、IHクッキングヒーターに揚げ物専用のモードがある場合はそのモードを使用いただき、IHクッキングヒーターに限らず、火を使う際は絶対にそばを離れないでください。



このページに対してご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

役に立った どちらともいえない 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

見つけやすかった どちらともいえない 見つけにくかった

お寄せいただいたご意見は、今後のホームページ運営の参考とします。

確認する

お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)

(c) 2015 City of Kyoto. All rights reserved.

閉じる

現在位置: [トップページ](#) [安心・安全情報](#) [Web「京都消防」](#) [Web京都消防平成27年12月号](#)
平成27年12月号 わが社の防火防災自慢

平成27年12月号 わが社の防火防災自慢

ページ番号190705

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

[ツイート](#) [シェア](#)

2015年12月1日



わが社の防火防災自慢

「安全が全てに優先する」工場であるために

株式会社DNPテクノパック 京都工場

工場長 吉田 和史 氏



京都工場の紹介

当社は大日本印刷株式会社の製造子会社であり、京都工場は昭和21年に日用品・食品などのパッケージを製造する工場として誕生しました。その長い歴史の中で、厚紙印刷からフィルム印刷へ範囲を広げ、内容物の品質保護のため、バリア性・遮光性等の機能を付加する技術、酒類等の液体紙容器製造技術など、世の中のニーズに合わせて技術を進歩させてきました。今後も「食とヘルスケア(高齢化社会の中で、安全で質の高い生活や、生涯にわたる健康維持を目指す分野)」において人と社会をつなぎ、新しい価値を提供し続けていきたいと思っています。

安全衛生・防火・防災の取組について

当工場では「安全が全てに優先する」という考え方を基に、日々、防火・防災面も含めた安全衛生活動に力を入れていきます。職場単位での活動はもちろん、月に1度、管理者が工場全体を安全衛生の視点でパトロールする「管理者パトロール」や、半年毎に、アルバイト・派遣社員・構内業者を含む全従業員に対して安全衛生の教育をする「安全道場」などを展開し、「従業員一人一人が、真の意味で安全を全てに優先させた行動を取る工場」の実現を目指しています。

総合防災訓練について

毎年10月に、右京消防署と合同で工場全体の総合防災訓練を実施しています。今年も10月16日に、大規模地震が発生したとの想定で、職場内での安全確保から火災が発生した際の消火、最終的に工場内駐車場へ避難するまでの一連の訓練、自衛消防小型動力ポンプ隊と右京消防署による一斉放水訓練及びはしご車による救助訓練を行いました。右京消防署に御協力いただくことで、従業員にも一層の緊張感が生まれ、より生きた訓練が実施できていると感じています。

毎年実施している総合防災訓練の様子



静電気対策について

製造工程において、インキや紙、フィルム等を扱っていることもあり、防火面での取組は欠かせません。中でも、静電気対策には特に注力しています。毎年、外部講師を招き、静電気の原因となるメカニズムの講義や実際に職場を巡視しての対策指導をいただいています。また、研修会場を数日前から除湿して静電気の発生しやすい環境を作り出し、放電から発火までの実演や受講者全員で手をつないでの導通体験を行っています。

従業員に対する静電気教育の様子



講義



全員で手をつないでの導通体験

このような教育も、やはり、体験・体感することが重要で、従業員の理解度も増し、日々の安全作業に反映されていると感じています。ただ、年に一度の開催では受講できる人数にも限りがありますので、現在は、静電気体感機を購入し、より多くの従業員への体験展開、反復教育も並行して進めています。

終わりに

前述のとおり、当工場は「安全が全てに優先する」工場であるために、日々、活動を続けています。

しかしながら、これらの活動は我々の努力だけでは決して成し得ません。右京消防署や地域住民の方々の御理解と御協力があってこそものだと思っております。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

平成27年
12月号目次

お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課
電話:075-682-0119
ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)

現在位置: [トップページ](#) [安心・安全情報](#) [Web「京都消防」](#) [Web京都消防平成27年12月号](#)
平成27年12月号 担当区ぐグット紹介

平成27年12月号 担当区ぐグット紹介

ページ番号190707

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

[ツイート](#) [シェア](#)

2015年12月1日



学区の紹介

春日野学区は醍醐地域の南東に位置しており、約7,010の方が住んでいます。公共交通機関として地下鉄東西線のほか、平成16年2月から醍醐コミュニティバスが運行を開始し、学区の足として活躍しています。

同学区では、「茶房やどり木」、「健康すこやかサロン」など、高齢者の方の交流の場を多く開設しており、住民の方に「暮らししていてよかった」、「暮らし続けたい」と実感していただけるまちづくりを推進しています。

自主防災会の紹介

春日野学区自主防災会は昭和63年3月に設立され、現在13の自主防災部で構成されています。自主防災会長を中心に、毎年6月に自主防災会役員を対象とした防災研修会、10月に春日野学区総合防災訓練を実施しています。総合防災訓練では、過去の教訓を生かした訓練を実施し、毎年約300人を超える住民が参加して熱心に取り組んでおられ、地域住民の防災意識は高いです。

また、春日野学区では、平成26年3月に「安心安全のまち春日野宣言」を表明し、同自主防災会はこの宣言に基づき、地域コミュニティの強化及び活性化を図ることにより、減災を目指しています。毎月、定例会を開催し、社会福祉協議会等各種団体と連携及び情報交換を実施することにより、コミュニティのさらなる強化を図っています。

その取組の一環として、春日野社会福祉協議会が主催する「健康すこやかサロン」に参加される高齢者の方を対象に、10分で防火指導を行う「10分de防火」を春日野消防団員が実施するなど、消防団と協同して高齢者の焼死者防止等に努めています。

さらに、学区内の防火防災功労者に対して、独自の表彰制度を設けることにより、地域住民の防火・防災意識の高揚を目指しています。

こうしたきめ細かい自主防災活動が評価され、今年度には防災功労者防災担当大臣表彰を受賞し、防災担当大臣から表彰されました。



総合防災訓練の様子

消防分団の紹介

春日野消防分団は堀池分団長以下21名で構成されており、春日野学区及び石田学区の安心・安全のために、日夜、活動しています。通常の町内の防火防災指導に加え、小学校のプールを借用しての水難救助訓練、年間を通じた教育の実施、前述の「10分de防火」等、高齢者の集う場所での防火防災指導を実施しています。

また、今年の春日野学区総合防災訓練の際には、女性団員が多く在籍するという当分団の特徴を生かし、女性だけの消防隊を結成して「ひまわり隊」と名付け、放水訓練を実施しました。名前の由来は元気なイメージである花の「ひまわり」と、火を出さないように見回る「火回り」を掛けたものです。何度も訓練を重ね、本番では素早く力強い放水訓練を披露することで、大きな自信になりました。これからも「ひまわり隊」は、女性ならではの活動をしていきたいと思っています。

春日野消防分団はさらなる進化を目指し、これからも活動を続けていきます。



ひまわり隊による放水訓練の様子



春日野消防分団による水難救助訓練の様子

終わりに

春日野学区では、今後も各種団体と連携を深め、地域のネットワークを強固なものとし、災害時に配慮が必要な方々にも適切に対応できる安心・安全な地域づくりの実現に向けて尽力していきます。

平成27年
12月号目次

お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)



現在位置: [トップページ](#) [安心・安全情報](#) [Web「京都消防」](#) [Web京都消防平成27年12月号](#) 平成27年12月号 ザ☆救助

平成27年12月号 ザ☆救助

ページ番号190706

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます

[ツイート](#)

[シェア](#)

2015年12月1日



私は平成22年4月に採用され、早や5年が経ちました。そして、平成27年10月から念願の救助隊に配置されました。まだ救助隊員になって経験が浅く、右も左もわからない状態ですが、私なりの「ザ・救助」として、救助隊を志望する原点となった拝命2年目の火災現場での経験を紹介したいと思います。

私は消防士になってから救助隊を志望していました。それは、ひとえに災害等で被災した人々を助けたいと思ったからです。そんな気持ちを抱いていた1年目の出来事でした。

「○○管内、火災受信中！！」夜の事務所の静寂を突き破るような猛々しい声の無線が流れました。階段を駆け下り、車両に飛び乗って無線を聞くと、「2階建ての民家が燃焼中。南を除く三方に延焼危険あり。逃げ遅れにあっては不明。指令センターからの望見状況は黒煙上昇中。」との状況が入ってきました。

現場到着すると、真っ暗な夜の空でもはっきりとわかるほどの黒煙が立ち昇っていました。夜の狭く暗い路地を必死にホースを延長し、建物前まで行くと、隊長から「南西側の燃えている家に入るぞ！！早くホースを延ばせ！！」との下命を受けました。南西側の家の敷地内はさらに狭く、暗く、鉢植え等の物で溢れていました。その中をホース延長し、塀を乗り越え、屋外から放水しました。火勢は弱まり、その後、屋内に進入して放水を続けました。どれくらい放水していたのかわかりませんが、徐々に火勢も収まり、放水を止めて、各部屋の残火確認のため、ある部屋に入ったときです。その部屋は、中学生が高校生ぐらいの子ども部屋で、部屋の中には仲睦まじい家族写真や幼い頃に書いたであろう似顔絵、学生服や教科書、部活動の用具などが無残にも焼けてしまっていました。火災は何もかもを一瞬に灰に変えて奪っていくんだな...と心の中で思い、やりきれない気持ちになったことを今でも鮮明に覚えています。

残火確認が終わったときでした。「みんな、家の外に来てくれ！」との隊長の声が家の外から聞こえてきました。家の外に出てみると、隊長と先輩隊員、そして、何かがシートにくるまれています。私はそのときはまだ、そのシートにくるまれているのが何なのか、理解できていませんでしたが、隊長から「この方を今から『お運び』する。器材を当てて痛い思いをさせたらあかんぞ。丁寧に『お運び』しよう。」との言葉と、シートの隙間から見えた体の一部分などから、徐々にそのシートにくるまれているのが人であるということを理解しました。

この瞬間のことは、今でも忘れることができません。家族写真、思い出が詰まった家、家族…。全て火災が奪ってしまったんだと感じ、市民の皆さんには、二度とこんな苦い思いをさせたくない、自分自身も二度とあんな思いをしたくない心に誓った瞬間でした。

あの災害から早くも4年が経ち、今、私は志望していた救助隊員となりました。4年前のあの火災現場の経験から、私は技術・経験をこの4年間に積み重ねてきたつもりです。しかし、これからも今まで以上に強い信念を持ち、一つ一つの経験を大切に、日々、自己研鑽に励み、より一層の努力をすることが、今後、4年前と同様の災害に出くわしたとき、立ち向かう力になる、4年前に奪われてしまった命や財産を、次は守り、助けることができると信じています。この思いが、私の「ザ・救助」です。



▲後列中央が筆者





お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課
電話:075-682-0119
ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)

(c) 2015 City of Kyoto. All rights reserved.

閉じる

平成27年12月号 あの日あの頃

ページ番号190710

ソーシャルサイトへのリンクは別ウィンドウで開きます [ツイート](#) [シェア](#) 2015年12月1日

あの日あの頃

もう一つの非常召集

山科消防署 三野 勝幸



消防学校入校

昭和55年(1980年)4月、好天と満開の桜とに大歓迎されての入校。モヤモヤとしていた不安もどこへやら、希望ばかりで胸は膨らんでいた。今、長く早かった36年が経ち、42名の同期生も38名に減ったが、それぞれ秘めた闘志を心に、時に瞳の奥にメラメラした炎を垣間見せるような、そんな期生であったような気がする。

当時の災害

さて、昭和55年の国内の災害としては、8月に14名の死者を出した「静岡駅前地下街ガス爆発事故」や11月には宿泊客ら45名もの死者を出した「栃木県川治プリンスホテル火災」(旅館・ホテル等の防火基準表示制度の契機、昭和56年運用開始)が思い出される。

一方、京都市内では、翌56年2月に私の配置先であった中京消防署管内の壬生で、計39棟延べ2,539㎡が焼失する大火災が発生した。火の手は、時の風にあおられて瞬間に広がり、火災の上昇気流によって屋根瓦が500メートル以上も遠く離れた所まで飛んでいったとも聞いた。同署の非直職員や毎日勤務者らに非常召集が掛けられたが、ちょうど公休日だった私は、同じ休みの先輩と寮でテレビ中継に見入った。翌、出勤すると、職場は壬生の大火のこと一色で、その雰囲気は人事異動でメンバーが変わっていくまでほぼ続く感じだった。最もド新任だった私は仕事に飢えていて、隊長から「お前、原調やれ。」と飛ばされた冗談に本気で喜び、ほとんどその気になったりもした。

新任時代

平常時の業務では、2人で就いた本署受付の深夜勤務で、代わる代わる先輩からいろんな経験談を聴かせてもらい、非番の日もプライベートに至るまで世話になった。今、再任用制度などのお蔭で、当時の先輩と再び一緒に勤務できたりするのは、100人の味方を得たようでとても嬉しいが、当時の受付での話は眠くて実にならず、「府民の消防賞」ならぬ「不眠の消防士」状態であった。先輩と二人、個室でゆっくりと話ができた受付勤務の時間は、本当はとても貴重な時間だったのかもしれないと、今にして強く思っている。

壬生の大火から1年半後、私は予防課に配置となり、ここでもまた先輩上司に一から付きっきりの世話になっての日々が続き、いつまで経っても新任を抜け切れなかった。

その頃の予防課は、少年消防クラブの指導も大変過熱していたが、旅館・ホテル等の表示事務は予防課の最も重要な業務の一つであった。表示査察には、建築関係を含む予防全般の知識が求められ、査察結果の審査表の作成は予防課の新任にとってはかなり荷の重い作業であったが、同時に大変勉強になり、予防業務について深く広く知識や興味を持つことができたのも、まさにこのお蔭であると思う。

最後に

昨年からはまた、旅館・ホテル等の防火基準表示制度が復活し、新たな形でスタートしたが、審査には以前よりもっと幅広い法令知識等が求められる。昔に比べると、最近、予防課勤務を希望する職員が減ってきているようだが、違反是正指導などを進めるに当たっての消防法令解釈やその運用などの予防業務の醍醐味を、若いうちに一度は経験してほしいものである。

そして、あの壬生の大火からは35年、またあのメンバーから、時の苦労話を聞かされるもう一つの非常召集が掛かる頃かも…………。



昭和57年頃
最後列左から3人目が
筆者

平成27年
12月号目次

このページに対してご意見をお聞かせください

このページは役に立ちましたか？

役に立った どちらともいえない 役に立たなかった

このページは見つけやすかったですか？

見つけやすかった どちらともいえない 見つけにくかった

お寄せいただいたご意見は、今後のホームページ運営の参考とします。

確認する

お問い合わせ先

京都市 消防局消防学校教養課

電話:075-682-0119

ファックス:075-671-1195

区役所ホームページ

[北区](#) [上京区](#) [左京区](#) [中京区](#) [東山区](#) [山科区](#) [下京区](#) [南区](#) [右京区](#) [西京区](#) [伏見区](#)

(c) 2015 City of Kyoto. All rights reserved.

閉じる